

(1)
2石連、中東情報収集延長を
3「E C」が需要生み出す
4【記者の視点】熱気あふれる港の利用者懇
5【本紙シンガポールセミナー探検】「Future of Shipping towards Net Zero」

2023年(令和5年)
10/27 金
第22052号

日刊(土曜・日曜・祝日休刊)
昭和17年12月28日第3種郵便物認可

日本海事新聞

THE JAPAN MARITIME DAILY

発行所 日本海事新聞社 本社 〒105-0004 東京都港区新橋5-15-5 ©日本海事新聞社 2023

エミッションフリーな未来を海事部門からリードする
MOL マリン&エンジニアリング株式会社

本社 〒105-0001 東京都港区虎ノ門2丁目1番1号 商船三井ビル
TEL:03(3587)6011 FAX:03(3587)6015
URL:https://www.molmec.com/

MOL
商船三井グループ

「投資枠は40億円、21年度は4年間で投資を実施する計画でスタートした。これまでにスタートアップ企業12社、ベンチャーキャピタル3社に投資した。累計投資額は20億円を超えた。計画通りに進捗している。」

英ロンドンとシンガポールに拠点を設置し、海外のスタートアップ企業を支援する体制も整備。商船三井の米園子社長が、エネ

「2021年4月の設立から振り返ると、当初はVCと協同し、投資領域を広げることができた。」

「東京の人員体制は設立時に3人でスタートしたが、現在は6人まで増えた。今年12月には商船三井から初めて出向者も受け入れた。外部採用の2人を含め、年末までに8人に増える。海外拠点とタイの人員も含めると全体では13人体制になる。」

「今夏には商船三井グループの米園子社長が、エネ

Interview 海運版CVC

商船三井100%出資のコーポレートベンチャーキャピタル(CVC)「MOL PLUS」(本社:東京都港区、MOLグループ)は、設立から2年半でスタートアップ企業12社、ベンチャーキャピタル3社に投資した。スタートアップ企業が展開した製品の社会実装に向けて、商船三井グループとの協業も進展している。MOL PLUSの阪本拓也代表に今後の取り組みなどを聞いた。清水かなこコーポレートマネージャーも同席し補足した。

(聞き手 山田智子)



米キャピタル・リンクは東京都内で26日、第2回日本海事フォーラムを開催した。登壇したギリシャ船主大手スターバルク・キャリアーズのニコラス・レスコスCOO(最高執行責任者)が次世代燃料船について「私が、日本にいらる理由がそれだ。イノベーションを推進する日本であり、日本から最適なデザインが出てくることを期待している」と日本造船所の技術力への期待を表明。その上で「この会場にいる友人たちは、シニア燃料ニューカッスルマックスを開発しており、われわれは大きな興味を持っている」と語った。

キャピタル・リンクが日本で海事フォーラムを開催するのはコロナ禍前の2019年以来となる。



MOL PLUS代表
阪本 拓也氏(左)

さかもと・たかや 12(平成24)年京大農卒、商船三井入社。鉄鋼原料船部やシンガポール法人法務、自動車船部を経て、社内起業制度で「海運版CVCの設立」を提案。21年4月から現職。大阪府出身、34歳。

15社に出資、協業も進展

「京都大学のスタートアップ企業であるメトロウエーブ(京都府宇治市)が開発した3次元設計ソフトウェア「MOL Switch」を立ち上げた。北米にもスタートアップ企業界で社会実装を支援する方針を掲げている。協業事例も出てきているが、波紋で動揺がある中でも風

向きと風力を高精度で予測できることを確認した。」

「商船三井は風の力を船の推進力に利用する、帆走航行や風力推進装置、ウィンドアシストシステムの実証試験を行った。洋上を航行する船舶に同装置を設置し、波浪で動揺がある中でも風

新燃料船「日本の技術に期待」 スターバルクCOO 海事フォーラムで登壇



パネルディスカッションで日本との協力関係について語るレスコス氏(手前)

「日本船舶はコマシヤル管理において最も重要な戦略的パートナーの一つであり、多くの船のチャーターリングで協力している」と述べた。

■中道船に意欲

「ノルウェー自動車船主、グッドホープ・グループのジョージ・A・ウエストCEOは、日本は自動車船において最も重要な市場の一つであり、われわれは40年以上前から日本市場に参入している。フライングスではJOHCO(購入選択権付き日本型オート

市況 2023

非鉄金属や穀物などを運ぶ5万16万重トン型スロートップ型船舶が1万5000トン前後で足踏みしている。18万重トン型「P」サイズが秋の需給で騰勢を強める中で、下位船型への波及効果は見られない。一方で、最前線を迎えていた北米穀物の出荷が、まだ解消し切れていないパナマ運河の通航制限などが、一定の需給引き

スープラ型 1.3万ドル前後で足踏み

需要期入りから波及せず

はかつての3200万円から3800万円に上昇し、4500万円は高過ぎるが、3500万円に下がることはないだろう。われわれは新しいパラダイムに入っている。」「イオリ氏

■多様化でリスク管理

ギリシャ船主エラスム・シグナスCEOは「ジョーン・スープレックス」のLPG船主として、環境規制と代替燃料を巡るチャレンスを直面している。しかし、環境決定を下すための新たな技術の正解が見えない。だから、多様化が一つ

「九州⇄台湾」なら八代港

「台湾」との輸出入にかかる利便性が大きく向上しました！

台湾からの輸入が9日から4日に短縮！

輸出3日 → 八代 → 基隆 → 那覇 → 八代 → 高雄 → 那覇 → 八代 → 輸入4日

1航路で2回寄港(追加寄港)

助成制度も充実！

- 国際コンテナ利用拡大助成事業
- リーファーコンテナ利用拡大助成事業
- コンテナ物流トライアル助成事業

八代港港湾振興協会 (八代市 商工・港湾振興課内)

お問い合わせ TEL: 0965-33-8777 MAIL: minato@city.yatsushiro.lg.jp

助成金の詳細はコチラ▶

コイト電工社製LED船灯

・電源線1本で消灯アラーム対応！
・50,000時間の長寿命！
・安心のメイドインジャパン！

島田燈器工業株式会社

http://www.shimatonet.co.jp
E-mail: shimatonet@shimatonet.co.jp
大阪本社: 大阪市港区西3-4-2
TEL: 06-6574-0525 FAX: 06-6575-3545
東京支店: TEL: 03-3634-0277 FAX: 03-3633-0375
札幌営業所: TEL: 011-789-8711 FAX: 011-784-8611

海洋汚染防止条約 2022年改訂版「英和対訳」

海文堂出版

〒112-0005 東京都文京区水道2-6-4
TEL: 03-3815-3291 FAX: 03-3815-3953
http://www.kaibundo.jp/ e-mail: hanbai@kaibundo.jp